



誠・力・光

令和7年2月13日

練馬区立北町中学校

学校だより 2月号

## 学びを楽しむ

校長 中嶋 雅彦

図書委員会主催のビブリオバトル（書評合戦）当日、私は子どもたちがどのように自分が選択した本を他の人に伝えていくのかを楽しみにし、1日の準備を始めていました。そこに、一人の教員が論文を手に入ってきました。その論文は大学の仕事の中で、本校の授業についての研究について発表されたものでした。正八面体の投影図に関する授業について、「オンラインを活用した数学教育の現状とこれから」というテーマで分析したものです。

本校の目指す学校像には、「教職員全員が専門職としての力量を高め、教師と生徒が学びを楽しみながら成長する学校」というものがあります。生徒の目線になり、つまずきをより正確に見つけ共に解決しようとする。タブレットPCを活用し、授業中以外でも閲覧することができ、自分のペースで学ぶことができる。この研究はこれらの課題に対し、解説動画を作成し、学びに対して効果的な活用を図るものです。生徒の声では、「図に文字や線など色分けして書き込むことで、見やすさばかりではなく、条件や求めることは何であるか、明確になった」など多くの成果がありました。自分の力でわかると感じた楽しさ、見えていなかった図形の線がはっきりと認識できた喜びは、数学だけではなく、今後の生きていくために乗り越えなければならない壁に対して大きな糧となります。

放課後には、委員会の自主的活動であるビブリオバトルが行われました。毎年この時期に行われていますが、今年は、参加者、鑑賞者ともに、多くの生徒が集まり、図書室だけでなく、普通教室もオンラインで繋ぎ、開催されました。委員会活動においては、教師の適切な指導の下に生徒による自主的、実践的な活動が助長され、そうした活動を通して委員会活動の目標の実現を目指します。そこで、できるだけ生徒自身による計画に基づく活動を生かし、生徒が自ら進んで活動を行います。生徒の主体的・対話的で深い学びを実現するためには、生徒が活動の計画を立てて実践するようにすることが大切であり、事前の準備を子どもたちとともに考えその活動の成功に向かって進んでいます。

図書委員会のこの活動の目標は「人から本を知り、本から人を知る体験を通して、読書に関心をもつ機会にする。」です。本校では、今後も多くの学びを楽しむ活動を取り入れ、生徒に対し人との関わりを通して、自他の違いを知り、ともに大切にしていきながら、自らの幸せを見つけるために必要な学ぶ力を身に付けさせていきます。